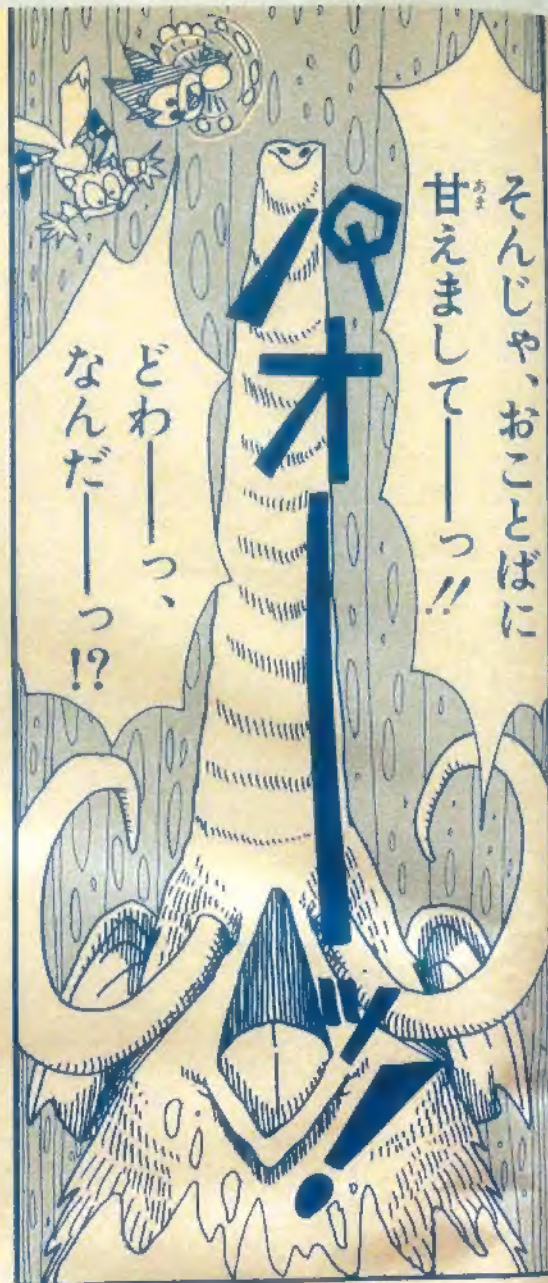
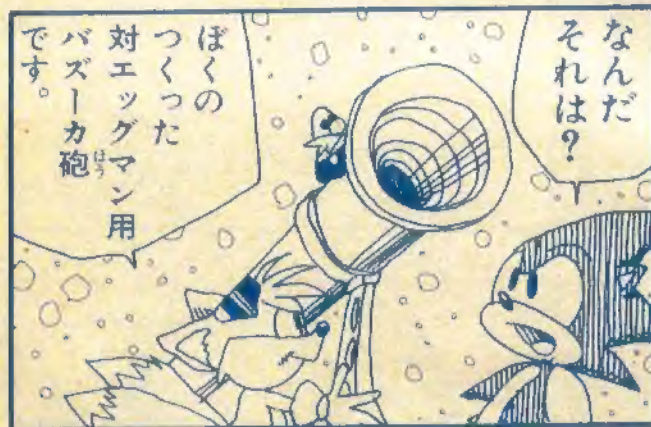
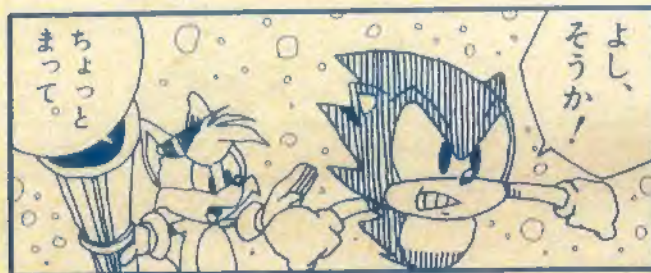
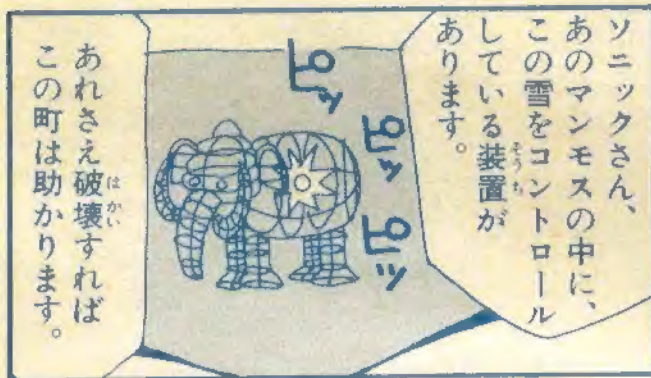
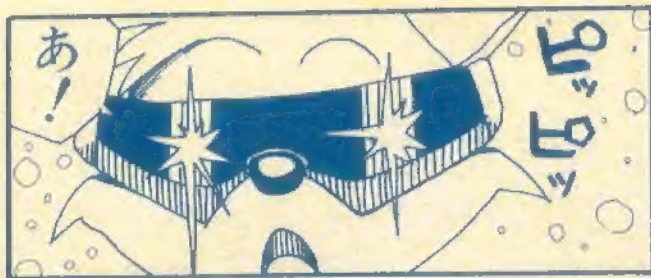
痛快！超音速ギャグ
ソニック・ザ・ヘッジホッグ
#12 ソニックVSエッグマン最終対決
★なぜか大雪のヘッジホッグタウン…こいつぁエッグマンの反撃だあ!!
いったいこの雪はどうしたんだ!?
ガチガチ
この寒さも異常ですよ〜。
作・森本サンゴ
原案／寺田憲史 ©1991 SEGA
フッフッフッ、どうじゃソニック！わしの降らせた超豪雪の味は!?
そ、その声はエッグマン。
きさま、いったいなにをたくらんでいるんだ！
せっかくだから教えてやろう。
この雪でH・H・Tを氷河期にしてしまい、全員凍死させてやるんじゃ！
な！
そして、新たにここにEM帝国を築く！どうじゃスゴイ計画じゃろう。
バカヤロー、なにを寝言いってんだ。姿をあらわせ、ひきょう者め！

そんじゃ、おことばに甘えましてーーっ!!
パオーーン!!
どわーーっ、なんだーーっ!?
究極のモンスターマシン、「スーパーイタダキマンモス」じゃ。
今までのようなお笑いメカとはモノがちがうぞ。
名まえはお笑いだっての。
ピッピッ
あ!
ソニックさん、あのマンモスの中に、この雪をコントロールしている装置があります。
ピッ ピッ ピッ
あれさえ破壊すればこの町は助かります。
よし、そうか!
ちょっとまって。
なんだそれは?
ぼくのつくった対エッグマン用バズーカ砲です。
見ててください。
ファイアーーッ!

ポミョン
あれ？
グハハハ、いくらメカの天才といっても、しょせんキツネの考えることじゃわい。
おまえの武器は、この寒さで機能しなくなってるのもわからんのか！
ハフ ハフ
見よ、ソニック。そろそろ町が雪に閉ざされてきたぞー。
もう10ｍくらいつもったかなー。
ホレ、冬眠してるヤツまでおるわ。
オレ、ハ虫類だもんね。
ソニックさん、ぼ、ぼくもこおりそうです……。
よし！
ブルルッ
ローリングアタ－ック!!
どうだっ！エッグマン。
マンモーッ！

ケヘヘヘ、なんでもないもんね。
プスプス
プス
なに？
このマンモスの毛皮は、一本ずつ超合金でできているのだ！
ピーン
一本ずつ植えるのめんどくさいんだぞ
おまえのローリングアタックぐらいではびくともせんわ。
しかも、敵に打ち込むこともできるのだ！
バオッ！
ビッバッバッ！
スタタタッ！
ソニックさん！
うわーっ！
ふー、危なかった。
もう少しでやられるところだったぜ。
チェッ、すばしっこいヤツめ！
でも次は逃がさんぞ。
ズドドドッ!!
シュー
おっと。
バシュッ！
へへッ。
だんだんわかってきたぞ。

ソニック・ザ・ヘッジホッグを読んだ感想や森本サンゴ先生へのお便りを送ってください　あてさき　〒101-01 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 小学館 小学六年生編集部 ソニック・ザ・ヘッジホッグ係

■小学六年生4月号でまた会おう！